

令和8年度

半田学校

「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 自ら考え・対話する児童の育成
- ① わかる・できる・楽しい授業で基礎基本の定着を図る。
 - ② 対話を通して学びを深める授業を工夫する。
 - ③ 進んで学習に取り組み、自ら考えようとする態度を育てる。

校長

柳生 敦

学力向上推進員

中西 香菜

【各校の取組状況の把握について】

◎次の（１）～（３）をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

管理職による授業参観や教員からの報告、情報交換等、様々な機会を捉え取組状況の把握を行う。

（１）知識・技能の習得

児童生徒の状況（○よさ・●課題）	具体的目標（目指す子供の姿）	具体的方策（教員の取組）	中間期の見直し	達成状況（評価）	次年度における改善事項
○算数の四則計算や漢字の読みは、定着率が高い。 ●漢字を書く力は、定着率が低い傾向がある。 ●計算の意味を考えて立式したり、漢字を文中で正しく使ったりすることに課題がある。 ●自分の考えを書く力や問題を読み取る力に課題があり、意見文を書くことや記述問題が苦手な児童が多い。□ □ □	①正確に計算する力や、適切に漢字を使う力など、基礎基本の力が定着している。 ②正しく文章を読み取るとともに、語彙を増やし、適切な言葉を用いて文章を書くことができる。□ □ □ □ □ □	①漢字ミニテストやドリル学習で反復学習を行い、復習する機会を増やす。 ②自分の考えを書く活動を授業で取り入れる。 ③日記の宿題を定期的に出し、文章を書く機会を増やす。□ □ □ □ □			

（２）思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況（○よさ・●課題）	具体的目標（目指す子供の姿）	具体的方策（教員の取組）	中間期の見直し	達成状況（評価）	次年度における改善事項
○自分の気持ちや考えを伝えようとする児童が多い。 ○ICT等を活用して調べたことをまとめ、表現することに意欲的に取り組むことができる。 ●自主的に考え、答えを粘り強く導き出そうとする力が弱い。 ●話し合いの進め方が分からず、内容が深まりにくい。 ●ペアやグループでは話しやすいが、全体では発言しにくい。	①自分の考えや意見を根拠を持って表現することができる。 ②話し合いの仕方を理解し、意見をまとめることができる。	①タブレットやホワイトボードなどをツールとして用い、根拠をもって意見や考えを伝える場面を設定する。 ②学級活動の時間を利用して、話形や話し合いの仕方を提示し、話し合いの活動を取り入れる。□ ③授業の中で自分の思いや考えを説明する場면을意図的に計画的に設定する。 □ □ □ □			

（３）主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況（○よさ・●課題）	具体的目標（目指す子供の姿）	具体的方策（教員の取組）	中間期の見直し	達成状況（評価）	次年度における改善事項
○宿題等与えられたら課題には、真面目に取り組む児童が多い。 ○見通しを持って、学習に取り組むことができる。 ○短い言葉で分かりやすく伝えることができる。 ●人の話を興味を持って聞こうとする児童が少ない。	①人の話に興味を持って耳を傾けることができる。 ②発達段階に応じて身近な目標を設定し、それに向けてできるための方策をたて、ふり返りを行う。□ □ □ □ □ □	①興味が持てるような話をし、最後まで話す・聞く指導を継続して行う。 ②総合的な学習や生活科の時間に様々な体験をしたり、ゲストティーチャーを招いたりして話を聞かせる機会を設ける。□ □ □ □ □ □			